

2050年には海にあるプラスチックの重さが、魚ぜんぶの重さをこえるんだって。

マイクロプラスチック・ストーリー～

ぼくらが作る2050年～は、

ニューヨークブルックリンの5年生たちが

世界的に大きなプラスチック汚染問題の

根っこが何かを彼らの視点で問いただし、

解決に向かって自分たちの地域から

アクションを広げて行くまでの

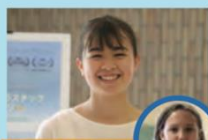
2年を追った長編ドキュメンタリーです。



ブルックリンのレッドフック地区にあるPS15の5年生は、自分たちでリサーチやデータ収集を重ね、それを市議会に公表し、自分たちの住む地域で使い捨てプラスチックを減らす活動を重ねていきます。そしてプラスチックはごみになってからだけでなく、生産の過程でも地球環境を汚染していること、そしてそれが気候変動に関わっていることを発見し、自分たちの学校のカフェテリアでアクションを起こし、それをニューヨーク市全体に広げていきます。映画では子ども達の素朴な疑問に専門家が答えて行き、アニメーションをふんだんに使って、このプラスチック汚染問題をわかりやすく解き明かしていきます。子ども達のまっすぐな熱意から希望が滲み出るマイクロプラスチック・ストーリーは、世界44の映画祭に選ばれ8つの賞を受賞しています。

日本語吹替にたくさんの方が協力

アーティスト、政治家、環境活動家などが応援出演



マギー役
平井美佳(京都)



スカイリン役
忌部あさひ(ハワイ)



ニューヨークの環境アーティスト役
日比野克彦(現代美術家)



ニューヨーク市長役
亀岡市 桂川孝裕市長



高校生役
露木志京(環境活動家)

全国578人の応募から選ばれた45名が子役の声を熟演!

あなたの学校でも上映会をしてみませんか？

みどりの市民がお手伝いします。

上映費についてはご相談ください。